

第47回浜松21世紀都市交通会議 議事録

1 開催日時 令和6年3月26日（火） 午後2時から

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 全員協議会室

3 出席状況 会長

久保田 尚（埼玉大学大学院 教授）

副会長

井熊 久人（浜松市 都市整備部 部長）

会員

佐藤 元久（浜松市自治会連合会 副会長）

杉山 きよ子（浜松いきいきネットワーク 代表）

高橋 満敬（浜松商工会議所運輸部会 部会長）

御園井 智三郎（浜松商店界連盟 会長）

中村 皇積（浜松市中央地区駐車場協同組合 理事長）

稲垣 善彦（浜松青年会議所 理事長）

太田 有昭（浜松経済クラブ 理事長）

斉藤 薫（公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事長）

代理 金子 哲也

小野田 剛久（遠州鉄道株式会社 取締役 運輸事業本部長）

松井 宜正（天竜浜名湖鉄道株式会社 代表取締役社長）

伊藤 尚吾（浜松市タクシー協会 会長）

越智 健吾（国土交通省中部地方整備局 建政部 部長）

代理 後藤 直紀

野田 敏幸（国土交通省中部運輸局 静岡運輸局支局 支局長）

代理 小田 春樹

名久井 孝史（国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所
所長）

代理 児玉 瀬久

久田 英之（静岡県警察 浜松市警察部 部長）

片山 友見（浜松市都市計画審議会 建築士会代表）

伏木 章尋（浜松市土木部 部長）

代理 野末 昇

事務局

竹村 雅彦（交通政策課 課長）
清水 健一（交通政策課 課長補佐）
高橋 直人（交通政策課 交通計画グループ グループ長）
近藤 大樹（交通政策課 交通計画グループ）
竹内 駿平（交通政策課 交通計画グループ）

4 傍 聴 者 4人

5 議 事 内 容 0) 交通に関する取り組みの推進と浜松21世紀都市交通会議の役割について
1) 会長・副会長の選出について
2) 地域公共交通網形成計画 増補版策定について
3) 規約改正について
4) 総合交通計画、地域公共交通網形成計画進捗について

6 会議録作成者 交通政策課交通計画グループ 竹内 駿平

7 記録の方法 発言者の要旨記録

8 要 旨

1 開会

- ・本日の出席は全委員20人中19人の出席であり、規約第8条第2項の規定により本会議が成立することを報告。
(出席者 19人(代理出席 5人)、途中退席 0人、欠席 1人)

2 議事

0) 交通に関する取り組みの推進と浜松21世紀都市交通会議の役割について

【交通政策課】

- ・当市では平成22年に、21世紀都市交通会議での協議を経て「浜松市総合交通計画」を策定し、ソフト施策・ハード施策を連携させながら「地域公共交通の活性化や再生」、「まちづくりと交通事業が一体となった取り組み」を進めている。
- ・令和2年度には「浜松市総合交通計画」を見直し、さらに「浜松市地域公共交通網形成計画」を新たに作成した。両計画について、令和7年度に見直しを検討しており、本日は計画の進捗状況を報告する。
- ・このように、浜松21世紀都市交通会議は「浜松市の交通に関する取り組みの意思決定の場」、「交通計画の進捗管理の場」という主に2つの役割を持つ。

1) 会長・副会長の選出について

【交通政策課】

- ・規約第6条第2項において「会議は、会長、副会長を置く。」とし、第7条第1項にて「会長は、構成員の中から互選により決定し、副会長は会長が指名する。」としている。

【事務局】

- ・会長について、推薦はあるか。

【浜松市タクシー協会】

- ・埼玉大学大学院 久保田教授にお願いしたい。

【埼玉大学大学院 久保田教授】

- ・引き続き、お引き受けする。

●協議

結果 ・全会一致で了承された。

【会長】

- ・副会長には、浜松市 井熊都市整備部長にお願いをする。

【会長】

- ・浜松 21 世紀都市交通会議は、交通に関するあらゆる施策を協議するために様々な関係者が会員となる、全国初の会議体である。
- ・21 世紀の交通課題を解決するため、引き続き協議をお願いする。

2) 地域公共交通網形成計画 増補版策定について

【交通政策課】

- ・国の補助制度である地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱が一部改正された。
 - ①地域公共交通網形成計画に補償対象となる路線(地域バス)を明記する。
 - ②地域交通法に基づく法定協議会が申請者となる。
 - ③令和7年度運行分から、上記の対応が必要となる。
- ・本市の対応は以下のとおりである。
 - ①地域公共交通網形成計画に地域バスを明記するとともに、必要事項を網羅した増補版を作成する。
 - ②地域公共交通会議を、道路運送法施行規則と地域交通法を兼ねた協議会とするため、財務規定や口座の準備を進める。
 - ③令和7年度運行分に対応できるよう調整し、次回の地域公共交通会議で最終的な対応方法について協議する。

●質疑応答

なし

結果 ・全会一致で了承された。

3) 規約改正について

【交通政策課】

- ・引き続き、国の補助金交付要綱の改正への対応である。
- ・これまでは地域交通法に基づく法定会議は21世紀都市交通会議であったため、総合交通計画及び地域公共交通網形成計画の両計画を協議してきた。
- ・地域公共交通会議を地域交通法に基づく法定会議とするため、地域公共交通会議にて地域公共交通網形成計画を協議することとし、21世紀都市交通会議では総合交通計画の協議をお願いしたい。

●質疑応答

なし

結果 ・全会一致で了承された。

4) 総合交通計画、地域公共交通網形成計画進捗について

【交通政策課】

- ・令和2年に中間の見直しを図った総合交通計画及び同年に策定した地域公共交通網形成計画について、5年後である令和7年度に見直しの有無を含めて検討する。本日は見直しに向け、進捗を報告する。
- ・総合交通計画で示す79の施策細目のうち、R5年度末時点で「完了」が1件、「概ね順調」が66件、「遅れ・課題あり」が6件、「未着手」が6件である。
- ・以下、特に公共交通に関する取組みを抜粋して報告する。

《パーソントリップ調査》

- ・交通ネットワークの見直しのため、令和4年度に調査を実施した。令和5年度に基礎集計を行い、令和6年度に調査結果を取りまとめる予定である。
- ・外出者の割合は前回調査から1割程度減少しており、ネットショッピングの普及やコロナ禍の影響によるものであると考察している。

《バス路線における3者協定の締結》

- ・運行事業者から退出以降のあったバス路線について、事業者・地域住民・市の3者で覚書を締結することで、2年間の運行を継続している。各者の役割は以下の通りである。

事業者：2年間、運行を継続する。

地域住民：利用促進策を実施する。

浜松市：運行費用の一部を負担する。

《共助型交通》

- ・旧西区庄内地区において、移動困難者を住民ドライバーが運送する、新たな運行形態を検討・実施している。
- ・令和6年3月8日時点での利用者は延べ31名であり、大変満足との声を頂いている。

《公共交通におけるタッチ決済の導入》

- ・新決済システムの導入として、タッチ決済対応のクレジットカード等を用いるための専用リーダーをバスの乗降口や鉄道駅の改札口に設置する。
- ・今年度は浜名湖花博 20 周年イベントに対応するため、関連バスへ先行導入。令和 6 年度には全路線バス 160 台、遠州鉄道鉄道線各駅に計 88 台に設置予定であり当市でも事業費に対して一部支援を実施している。

《大河ドラマ館開館中における周辺交通対策》

- ・周辺の交通混雑が予想される中、街中の駐車場への分散化を図るため、3つの施策を実施した。
 - ①誘導案内看板の設置(街中の提携駐車場へ案内するための看板設置)
 - ②浜松城公園駐車場の管理(来場予測に基づいた警備員・スタッフの配置)
 - ③円滑な交通輸送のための取り組み(提携駐車場割引券配布、案内チラシ作成等)
- ・今後も官民一体で施策を進めていく。また、計画の進捗について 21 世紀都市交通会議にて評価し、必要に応じて計画の見直しを検討していく。

●質疑応答

【浜松市商店界連盟】

- ・「東京モーターショー」が「東京モビリティショー」に変わったように、電動キックスクーターなどの新しいモビリティが進出してきている。ハード・ソフト両面において、変化が必要。

【交通政策課】

- ・計画策定時点では電動キックスクーター等は浸透していなかったが、国の規制緩和に伴い、今後の計画見直しの中で施策の追加等も検討が必要と認識している。

【会長】

- ・区の再編に伴い、新しい地域内移動の需要が生まれたのではないかと。

【交通政策課】

- ・再編前から新しい移動ニーズがあるとの声は聞いているが、具体的な議論には至っていない。今後、区再編の影響も今後想定されるため、地域と意見交換をしながら検討していきたい。

【会長】

- ・交通事業者の 2024 年問題への対応はどのようなものか。

【遠州鉄道株式会社】

- ・業務間インターバルが 8 時間だったものが 9 時間に変更される。また、日毎だけでなく月毎の拘束時間の規制も強化される。これに伴い、昨年秋のダイヤ改正で夜間の便を減便せざるを得なかった。
- ・コロナ禍による収支悪化やドライバー不足に対して、何らかの手段を講じながら事業を運営する必要がある。
- ・ドライバーを魅力的な職業とするため、処遇改善を行っており、運転手数も改善の傾向がある。一方で、民間事業である以上、収支を減便・退出のものさしとする側面は否定できない。

【浜松いきいきネットワーク】

- ・バス路線が減便されると、早朝に新幹線に乗るためには、鉄道駅まで30分歩く必要がある。タクシーを呼ぼうとしても、運転手不足により配車が間に合っていない。難しい問題ではあるが、より良い社会のために皆で考えていきたい。

【会長】

- ・すべての市民に関わる問題であるため、今後議論していきたい。

3 閉会